

金融広報中央委員会の活動

(2011 年度<平成 23 年度>)

知るぽると

www.shiruporuto.jp

金融広報中央委員会

(事務局 日本銀行情報サービス局内)

活動概況	1
金融広報活動	
1. 東日本大震災への対応	3
2. 講演会・セミナー・イベント活動	
(1) 「金融教育フェスティバル」の開催	4
(2) 「金融教育公開授業」の開催	12
(3) 「消費者教育フェスタ」への参加	19
(4) 「消費者教育推進事業」への参画	19
3. 啓発資料・教材、情報発信	
(1) 「暮らし塾 きんゆう塾」の季刊発行	20
(2) 「暮らしと金融なんでもデータ」の見直し	21
(3) ホームページを通じた情報発信	22
(4) 各種メディアを通じた情報発信	23
(5) ビデオ・DVDの貸出	23
4. コンクール	
(1) 「金融教育を考える」小論文コンクール	24
(2) 「金融と経済の明日」高校生小論文コンクール	26
(3) 「おかねの作文」コンクール	28
調査研究活動	
1. 家計の金融行動に関する世論調査	30
2. 子どもの暮らしとお金に関する調査	32
3. 金融力調査	33
4. 海外の金融教育の実情調査、国際機関等との情報交換	34
都道府県金融広報委員会を通じた活動	
1. 金融広報アドバイザー制度	36
2. 金融・金銭教育研究校制度	36
3. 金融学習グループ制度	36
4. 金融教育研究グループ制度	37
5. 金融学習特別推進地区制度	37
(資料1) 金融広報中央委員会活動の相互連携図	
(資料2) 主な金融経済等講演会の開催状況	

活動概況

2011年度は、「私たちの将来を考え、それに役立つ知識を、関係官庁や関係諸団体との調整・連携をさらに進めつつ、伝えていきたい」という願いを込めて、『役立つ知識を、ともに伝えよう』をテーマに掲げ、積極的に活動を展開して参りました。

例えば、東日本大震災に際しては、関係官庁や関係諸団体のホームページから被災者の方々に向けて発信する様々な分野の金融情報を、当委員会のホームページの特集リンクページを通して簡便に閲覧できるようにしたほか、広報誌「くらし塾 きんゆう塾」の夏号に震災に際しての金融関連情報を集中掲載しました。このほか、各種の講演会やセミナーにおいては、関係団体等と開催時期や開催場所の調整、共催方式の採用などにより、重複による非効率の回避を図りました。また、講師の相互派遣を行うなど活動内容の充実にも努めました。

主な活動実績は、上述のほか、以下のとおりです。

「金融教育フェスティバル」

成人向け講演会・セミナー、親子向けプログラム、教員向けセミナー等を同じ会場内で集中開催するもので、全国3か所で開催しました。

「金融教育公開授業」

金融教育の視点を取り入れた授業の実践状況について、教育関係者、保護者、地域の方々等に参観の機会を提供するもので、全国27か所で開催しました。

成人向けの講演会、小・中・高等学校の教員向けのセミナー

各地金融広報委員会が開催する金融・経済講演会や教員向けセミナーに対して、講師の派遣等による支援を行いました。

「家計の金融行動に関する世論調査」

家計の資産・負債や家計設計などの状況を把握するとともに、家計行動分析のための調査データを提供するために、毎年実施しているものです。

「子どものくらしとお金に関する調査」

小・中・高校生を対象とする大規模アンケート調査として、前年度の後半に5年ぶりに実施し、当年度に集計結果を公表しました。

「金融力調査」

18歳以上の個人のおかねや金融に関する知識や行動の特色を把握するための調査を、当委員会として初めて実施したものです。23年度は11、12月に調査を実施しました（結果の取りまとめ・公表は24年度）。

「暮らしと金融なんでもデータ」の全面改訂

暮らしと金融に関連した主要なデータを取りまとめた冊子の内容を2年振りに全面改訂するもので、今回から、ホームページを通じて、分析に利用しやすいデータ・ファイル形式での情報提供も行うこととしました。

以下の各章では、各活動の内容を具体的にみていきます。

金融広報活動

1. 東日本大震災への対応

【目的】

関係官庁や関係諸団体と積極的に調整・連携して、金融にかかわる最新かつ有益な情報を迅速かつ多様なかたちで提供することにより、中立・公正な立場から、被災者の方々の生活再建支援ならびに一般の方々の災害情報ニーズに対応することを目的としています。

【内容】

大震災発生の翌々日から、関係官庁や関係諸団体が発信する預貯金・保険・税・年金等の様々な金融関連情報を簡便に閲覧できるよう、ホームページのトップ画面に、特集リンクコーナー「東日本大震災関連の主な情報源」を開設して、被災者向け支援情報提供等に努めました。

また、被災地の宮城県金融広報委員会からの依頼に対応して、同委員会のホームページの震災関連情報提供のサポートも行いました。

広報誌「くらし塾 きんゆう塾」夏号（7月発行）では、地震保険の解説や災害時のお金のQ & A、震災に関するエッセイなどの震災特集記事を掲載したところ、追加配布要望が多く寄せられ異例の増刷を実施して対応しました（発行部数は 85 千部と前年比 1 割増）。

ホームページのトップ画面（部分）
「東日本大震災関連の主な情報源」



「くらし塾 きんゆう塾」
夏号表紙



2. 講演会・セミナー・イベント活動

(1) 「金融教育フェスティバル」の開催

【目的】

児童・生徒、保護者、教育関係者をはじめ、より多くの方々に金融や経済の仕組み、あるいは、暮らしに身近なおかねの知識について、楽しみながら学んでいただくことを通じて、金融教育の必要性についてご理解をいただくとともに、金融教育に対する興味・関心を高めていただくことを目的としています。

【内容】

7年目となる本年度は、10月23日の東京開催を皮切りに、以下の全国3都市で金融教育フェスティバルを開催しました。今回のフェスティバルでは、子どもたちには、おかねの仕組みや中央銀行の仕事、働くことの大切さ等について楽しく学べるよう、人気キャラクター・ショー、体験・参加型プログラムやおかねクイズ・工作コーナーなどを用意しました。また、大人の方向けのプログラムとしては、各界第一線でご活躍中の方々を講師とする講演会や教員向けのセミナーのほか、一般の方向けのセミナーを開催しました。加えて、委員団体や官庁などが作成した金融教育に関連する資料を提供するコーナーも設けました。各開催地とも盛況で、全開催地合計で約2,350名の方々にご来場いただきました。

(敬称略)

行事名	「金融教育フェスティバル2011」
日時 ・ 開催地	2011年10月23日(日) 東京都千代田区 2011年11月23日(水・祝) 京都府京都市 2012年1月29日(日) 鹿児島県鹿児島市 各開催地とも10:00~17:00
主催等	主催： 全開催地 金融広報中央委員会 東京 東京都金融広報委員会 京都 京都府金融広報委員会、京都府、京都市 鹿児島 鹿児島県金融広報委員会、鹿児島県、鹿児島市 後援：文部科学省、消費者庁、金融庁、日本銀行、日本PTA全国協議会、 全国公民科・社会科教育研究会、全国家庭科教育協会、日本消費者教育学会、 経済教育ネットワーク、千代田区(東京開催のみ) 開催地の都府県教育委員会および開催地の市教育委員会
内容	1. 講演会 <対象> 大人 <定員> 500名 <内容> 各界第一線でご活躍中の方々を講師にお迎えし、金融知識普及ないし金融教育をテーマにわかりやすく語っていただきました。また、2人の講師によるトークセッションも開催しました(東京、

京都)。

【東京】

「大震災以降の私たちの生活とくらし～いざという時のためのお金の知識」

講師 伊藤 元重 (東京大学大学院経済学研究科教授)

住田 裕子 (弁護士)

ナビゲーター 黒塚 まや (フリーアナウンサー)

【京都】

「老後を安心して暮らすために」

講師 和泉 昭子 (ファイナンシャル・プランナー、生活経済ジャーナリスト)

「品格ある生き方のための家庭経済学」

講師 坂東 眞理子 (昭和女子大学学長)

【鹿児島】

「お金の壺～家計管理のコツ」

講師 山田 真哉 (公認会計士・税理士、作家)

2. 親子のためのおかねの広場

(1) おかねの仕事体験 (京都、鹿児島)

<対象> 原則として小学校低・中学年

<定員> 1回 42名 (各開催地で3回開催)

<内容> 中央銀行の仕事やおかねの上手な使い方等について、体験を通して楽しく学びました。

中央銀行業務の体験コーナー

参加した子どもたちは、中央銀行の見習い職員として、グループごとに貨幣マスを使ったコインの選別と、模擬銀行券を使ったお札の数え方を体験し、働いた報酬としてお給料 (模擬貨幣) を受け取りました。

カレー作りゲーム

「中央銀行業務の体験コーナー」で得たお給料で、家族のためにカレーの材料を買うというゲームに取り組みました。食材の値段を考えながらリストを作成して買い物に挑戦し、限られた予算の中でのかねの「使い方」を学習しました。

* 「カレー作りゲーム」監修 あんびる えつこ

(2) おこづかいゲーム (東京)

<対象> 原則として小学校低・中学年

<定員> 1回 54名 (2回開催)

<内容> 友達と一緒にいろいろな仕事に挑戦しながら収入 (おこづかい) と支出 (おかいもの) のバランス感覚を身につけて、「夢のツアー」を目指しました。

(3) ガチャピン・ムックとおかねのことを学ぼう (全会場)

<対象> 子どもとその保護者

<定員> 1回約 100名 (各開催地で3回開催)

<内容> ガチャピン・ムックと一緒に、かねのことならなんでも知っている なでしこ先生からおかねのことを学ぶキャラクター・ショーが行われました。子どもたちは、かねの歴史や紙幣、貨幣

のさまざまな話題に興味深く聞き入ったり、おかねに関するクイズに答えたりして楽しくおかねのことを学ぶことができました。また、ガチャピン・ムックとの楽しい握手会も行いました。

(4) おかねクイズ(全会場)

<対象> 5才~中学生まで

<内容> 会場内のヒントパネルを手がかりに、おかねに関する質問に答えるクイズ。10問中8問以上正解すると「おかね博士認定証」を贈呈しました。

(5) おかねについて学ぶコーナー(全会場)

<対象> 全ての来場者

<内容> 小判五十両包み、フェイ(石貨)など珍しい貨幣や金塊のレプリカを展示。思いもよらぬ重さに驚くなど、体験を通じて、おかねのことを学びました。

(6) 貯金箱作りコーナー(全会場)

<対象> 5才~中学生まで

<内容> 知るぼるとのキャラクターが描かれた「車」型または「新幹線」型の特製貯金箱に、好きな色を塗って組み立てました。

(7) ビデオ上映(全会場)

<対象> 子どもとその保護者

<内容> ものの価値や健全な生活習慣の重要性などを伝える子ども向けビデオ「ボクの犬小屋日記」,「ホシガリ姫の冒険」,「100万円あったら、どうする?」,「お金は回る くらしと金融」を上映しました。

3. 親子向けイベント

忍たま乱太郎のスペシャルショータイム!!(東京)

<対象> 子どもとその保護者

<定員> 500名(1回開催)

<内容> 第1部では、忍犬・へムへムと一緒に「おかねクイズ」に挑戦しました。第2部では、忍たま乱太郎のキャラクター・ショーで、笑いとお歌と踊りが一杯のミュージカルショーを楽しみながら、ものやおかねを大切にすることを学びました。

4. 教員向けセミナー

<対象> 小学校・中学校・高等学校・大学等の教員、および教職を目指す大学生・大学院生

<定員> 【東京】140名、【京都】50名、【鹿児島】50名

<内容> 学校の先生方などを対象に、金融教育に熱心に取組んでいる先生方による講話や実践事例の紹介、参加型のワークショップなどを通して、金融教育を授業に取り入れるための手法を学んでいただく機会を設定しました。

講話【京都、鹿児島】

金融教育に関する有識者の方々に、金融教育の考え方や進め方などについてお話しいただきました。

【京都】

	<p>「学校における金融教育の効果的な進め方」 講師 工藤 文三（国立教育政策研究所 初等中等教育研究部長）</p> <p>【鹿児島】 「学校における金融教育の進め方」 講師 北 俊夫（国土館大学 教授）</p> <p>実践発表 金融教育に取り組まれている先生方に、実践事例をお話しいただきました。</p> <p>【東京】 小学校分科会 進行およびコメント：北 俊夫（国土館大学 教授） <1> 「地域・保護者と連携して進める金銭教育」 講師 坂井 辰美（一宮市福祉こども部青少年育成課 副主監 <前 愛知県一宮市立奥小学校 教頭>） <2> 「マネー・コンピテンシーの育成を目指した単元開発～『コミュニケーション・メディア』としての貨幣から“つながり”をみつめる活動を通して～」 講師 谷本 千保（大阪府豊中市立刀根山小学校 教諭）</p> <p>中学校分科会 進行およびコメント：大杉 昭英（岐阜大学教育学部 教授） <1> 「中学校におけるキャリア教育の実践発表」 講師 中川 克巳（三重県津市立一身田中学校 教諭） <2> 「働く喜びを引き出すキャリア教育～木工製品の製作から販売まで～」 講師 原田 功（静岡県浜松市立佐久間中学校 教頭）</p> <p>高等学校分科会 進行およびコメント：望月 昌代（文部科学省初等中等教育局 教科調査官） <1> 「高校生が取り組む金融教育」 講師 高桑 宏典（埼玉県立大宮商業高等学校 教諭） <2> 「ライフプランを立ててみよう 自立した社会人になるために」 講師 高橋 靖子（東京都立忍岡高等学校 主幹教諭）</p> <p>大学分科会 進行およびコメント：上村 協子（東京家政学院大学現代生活学部 教授） <1> 「金融教育ができる教員を養成しよう～北海道教育大学と北洋銀行のチャレンジ～」 講師 川邊 淳子（北海道教育大学教育学部 准教授） <2> 「大学の教職課程における金融教育」 講師 小関 禮子（帝京大学教職大学院 准教授）</p> <p>【京都】 <1> 「自己資金で科学の祭典を開催しよう」 講師 藤本 勇二（武庫川女子大学 講師 <前 徳島県阿波市立市場小学校 教諭>） <2> 「ロールプレイとシミュレーションを通して金融政策を学ぼう - 自由化と国際化、情報化の中の金融 -」 講師 新井 明（東京都立小石川中等教育学校・上智大学 非常勤</p>
--	--

講師<前 東京都立西高等学校 教諭>)

【鹿児島】

<1>「ものの価値や働きを知り、感謝しながら、上手に活用できる児童の育成」

講師 馬場 大輔(奄美市立住用小学校 教諭)

<2>「命・人・ものを大切にし、豊かな心や社会性を育み、たくましい生き方のできる生徒の育成～金銭教育の推進を通して～」

講師 瀨田 陽子(奄美市立住用中学校 教諭)

<3>「商業科目の中で取り組む金融教育」

講師 伊藤 泰孝(鹿児島県立奄美高等学校 教諭)

ワークショップ

参加型のワークショップを通して、具体的な実践のヒントとなる手法の紹介がありました。

【東京】

小学校・中学校・高等学校・大学の各分科会で、実践発表のテーマに沿ったグループ形式のワークショップを行いました。

【京都、鹿児島】

テーマ「世界一おもしろいお金の授業！必要なモノと欲しいモノ」

講師 いちのせ かつみ(ファイナンシャル・プランナー、生活経済ジャーナリスト)

5. 金融教育セミナー【東京、京都、鹿児島】

<対象> 大人

<定員> 各講座約 50～100 名

<内容> 当委員会の関係・協力団体を中心に講師を依頼し、金融・経済・教育の身近なテーマに関するセミナーを、東京会場では 20 講座、京都、鹿児島では各 4 講座、開催しました。

【東京】

いのちを育み環境を守る生活設計と資金計画とは

日本ファイナンシャル・プランナーズ協会

いまこそ知りたい！ 損害保険の知識(地震保険を含めて)

日本損害保険協会

投資信託の魅力と活用方法

投資信託協会

マネートラブルにかつ！ 返済計画見直し、借換え等を応援します

全国労働金庫協会

お金が好きやねん！ 必要なモノと欲しいモノの違いって？

いちのせ かつみ(ファイナンシャル・プランナー、生活経済ジャーナリスト)

いざというときのための生命保険の活用のポイント

生命保険文化センター

よくわかる株式投資

投資と学習を普及・推進する会

震災後の便乗商法に気をつけて！ ～トラブルから学ぶ～

全国消費生活相談員協会

「買って！買って！病」を治す 24 の処方箋

あんびる えつこ（生活経済ジャーナリスト、「子供のお金教育を
考える会」代表）

未公開株等の勧誘に注意！

日本証券業協会

知っていますか？ 最近多い金融犯罪 知識があなたの家族を守る
全国銀行協会

お札って面白い ～明治以降のお札にまつわるエピソード

日本銀行金融研究所歴史研究課

ライフプランとマネープランの作り方

金融財政事情研究会

知っているようで知らないクレジットカードの使い方

日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会

知るぽると&預金保険機構がおくる お金と生活大百科

金融広報中央委員会、預金保険機構

資産運用を始めるにあたって ～投資対象の基礎知識を学ぶ～

証券学習協会

にちぎん入門 日本銀行の仕事と経済へのかかわり

日本銀行情報サービス局

お金で失敗させる?! 子どもの将来が変わるおこづかいのあげ方講座

金融知力普及協会

株式会社と証券市場 その仕組みと機能

東京証券取引所グループ

証券投資で失敗しないために 株式、債券、投信等との付き合い方

日本証券アナリスト協会

【京都】

悪質商法・金融トラブルから我が身を守る！

全国消費生活相談員協会

シニアライフのマネープラン

京都府金融広報委員会

いまこそ知りたい！ 損害保険の知識（地震保険を含めて）

日本損害保険協会

いざというときのための生命保険の活用のポイント

生命保険文化センター

【鹿児島】

知っていますか？ 最近多い金融犯罪 知識があなたの預金を守る

全国銀行協会

いざというときのための生命保険 活用のポイント

生命保険文化センター

いまこそ知りたい！ 損害保険の知識（地震保険を含めて）

日本損害保険協会

よくわかる株式投資

日本証券業協会

6. 金融教育資料提供コーナー

<対象> 全ての来場者

<内容> 主催者ならびに協力団体の金融知識や金融教育に関する刊行物

	を提供しました。
--	----------

(「金融教育フェスティバル2011」参照先)

<http://www.shiruporuto.jp/event/2011/11fest/index.html>

講演会（東京会場）「大震災以降の私たちの生活と暮らし
～いざという時のためのお金の知識」



親子のためのおかねの広場～おかねの仕事体験
「中央銀行業務の体験コーナー」 「カレー作りゲーム」



親子のためのおかねの広場
「ガチャピン・ムックとおかねのことを学ぼう」 「貯金箱作りコーナー」



©FUJITV KIDS



教員向けセミナー



(2)「金融教育公開授業」の開催

【目的】

学校で実施される金融教育関連の実際の授業を、教育関係者、保護者、地域住民等多くの方々にご覧いただくことで、金融教育の重要性を広く理解していただくことを目的としています。

【内容】

金融・金銭教育研究校を中心に、実際の授業を参観していただくとともに、金融教育の専門家による講演等を併せて行う催しです。本事業は2005年度に開始して以来7年目を迎え、全国27か所の幼稚園、小学校、中学校、高等学校において開催しました(2005～2011年度累計で196か所で開催)。

(敬称略)

開催日	開催校名	公開授業講師	公開授業内容
		講演講師	講演テーマ・内容
2011年 9月22日(木)	東京都 世田谷区立 松原小学校	同小学校教員	「お手伝い大作戦～お家の人となかよし～」(1年生対象) 「みんなでつくろうフェスティバル～1年生となかよし～」(2年生対象) 「買い物探偵団～さぐれ！スーパーマーケットのひみつ～」(3年生対象) 「どうする、ごみ問題！」、「お金ってなあに？～身近なお小遣いからお金について考える～」(4年生対象) 「これからの日本の車づくり～環境にやさしい車をふやそう～」、「マイ・ランチオンマットを作ろう」(5年生対象) 「新しい時代の幕開け」(6年生対象)
		同小学校教員発表	研究実践報告「自ら考え、社会とかがわって生きる子どもの育成～金銭・金融教育の視点を生かして～」
		澤井陽介 (文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官)	「金銭・金融教育の視点を取り入れた新しい授業づくり」
10月3日(月)	佐賀県立 杵島商業 高等学校	同高等学校教員	「ライフプランニングをしよう！」(3年生対象、情報処理科)
		いちのせかつみ (ファイナンシャル・プランナー、生活経済ジャーナリスト)	「日本一おもしろいお金の授業！知らんとアカン！お金の話」
10月5日(水)	宮崎県立 小林 高等学校	同高等学校教員	「かしこく使おう！クレジットカード」(1年生対象、家庭基礎)
		住田裕子(弁護士)	「金融トラブルから身を守ろう！」

開催日	開催校名	公開授業講師	公開授業内容
		講演講師	講演テーマ・内容
10月12日(水)	島根県 益田市立 中西小学校	同小学校教員	「がんばろう 日本!! ~私たちにできること~」(金銭教育の視点から)(5年生対象)
		いちのせかつみ (ファイナンシャル・プランナー、生活経済ジャーナリスト)	「子どもはお金が好きやねん~今、お金の教育が必要なワケ~」
10月14日(金)	福岡県 粕屋町立 大川小学校	同小学校教員	「たしざん(2)」、「もったいないって どんなこと1-(1)」、「1年生対象」 「ものやお金をたいせつに1-(1)」、「買えますか?買えませんか?」(2年生対象) 「節度ある生活1-(1)」、「何倍でしょう」、「買えますか?買えませんか?」(3年生対象) 「じょうずなお金の使い方を考えよう」、「がい数とその計算」(4年生対象) 「じょうずに使おう 物やお金」、「平均」(5年生対象) 「人のためにできること4-(4)」、「地域の一人として4-(3)」、「場合をあげて調べて」(6年生対象) 「買い物名人になって遠足のおやつを買おう」(特別支援学級対象)
		同小学校教員発表	研究発表「ものやお金を大切に、心豊かに生きる子どもを育てる金銭・金融教育の創造~大川小学校『金銭・金融教育』カリキュラムの実践を通して~」
		ダニエル・カール (翻訳家・タレント、山形弁研究家)	「金融教育を考える~日米の生活体験を通じて~」
10月19日(水)	福岡県立 行橋 高等学校	同高等学校教員	「金融の意義・分類と金融機関の種類」(1年生対象、商業/総合ビジネス科)
		住田裕子(弁護士)	「金融トラブルから身を守ろう」
10月26日(水)	北海道 原学園 ひかり 幼稚園	同幼稚園教諭	公開保育「おみせやさんごっこ」 「ふくやさん」「おしゃれやさん」「写真館」(年中組) 「遊園地」(年長組)
		横井規子 (金融広報アドバイザー、ファイナンシャル・プランナー)	ワークショップ「もちものをたいせつに!じゃんけんゲーム」(年長組・保護者対象)

開催日	開催校名	公開授業講師	公開授業内容
		講演講師	講演テーマ・内容
10月28日(金)	愛媛県 松山市立 新玉小学校	同小学校教員	「土地の特色を生かした伝統産業の町 砥部町」(4年生対象)
		いちのせかつみ (ファイナンシャル・プランナー、生活経済ジャーナリスト)	「しごとってナニ?おかねってナニ?」
11月2日(水)	長崎県 長崎市立 橋中学校	同中学校教員	「身近な生活とお金・価格との関係について」(3年生対象)
		いちのせかつみ (ファイナンシャル・プランナー、生活経済ジャーナリスト)	「世界一おもしろい経済学」
11月9日(水)	福岡県 大牟田市立 白光中学校	同中学校教員	これからの大牟田のまちづくりを考えよう～今、未来のためにできること～」(3年生対象)
		桂きん太郎 (タレント・落語家)	「地域活性化のために中学生ができること」
		同中学校教員発表	研究発表「持続可能な地域社会を創造する子どもを育てる金融教育」
11月11日(金)	山梨県 昭和町立 常永小学校	同小学校教員	「あるひのきょうしつ」、「あきともだち」(1年生対象) 「いっしょがいいね」、「かかりのしごとはいい気もち」(2年生対象) 「ぼくのたからもの」、「見直そう わたしたちの買い物」(3年生対象) 「健康なくらしとまちづくり ごみはどこへ」、「自分にできること」(4年生対象) 「工業生産を支える人々～工業の今と未来～」、「つるぎのまい」(5年生対象) 「未来への架け橋～世界に目を向けよう～」、「平和な大地を目指して」(6年生対象) 「わたしのおみせ」(特別支援学級対象)
		同小学校教員発表	研究発表「『確かな学力』を身に付けた子どもの育成～ものやお金の大切さ、人との関わり大切さ、勤労を尊ぶ考え方を身に付ける金銭教育を通して～」
		田中進 (農業生産法人・株式会社サラダボウル代表取締役)	「働く楽しさを伝えたい～自立した大人になるために」

開催日	開催校名	公開授業講師	公開授業内容
		講演講師	講演テーマ・内容
11月11日(金)	滋賀県 甲賀市立 甲南中学校	同中学校教員	「さまざまな支払方法を知ろう(経済分野)」 (3年生対象)
		同中学校教員	基調提案 分野別協議会(授業研究会)
		伊藤元重 (東京大学大学院経済学研究科教授)	「中学生に教える金融・経済」
11月16日(水)	新潟県 長岡市立 富曾亀 小学校	同小学校教員	「こうたのあさ」(2年生対象) 「見直そう わたしたちの買い物」(3年生対象) 「じょうずに使おう 物やお金」(5年生対象)
		同小学校教員	金融教育協議会(分科会)
		ダニエル・カール (翻訳家・タレント、 山形弁研究者)	「お金の上手な与え方・使い方～日本とアメリカの違いから」
11月16日(水)	愛知県立 豊橋商業 高等学校	同高等学校教員	「試算表」(1年生対象、簿記) 「企業組織とビジネスの担当者」(1年生対象、ビジネス基礎) 「ビジネスの計算と表計算ソフト」(1年生対象、情報処理) 「表計算ソフトの活用と分析」(2年生対象、ビジネス情報) 「欧州連合(EU)と国際経済」、「起業家育成」(3年生対象、課題研究)
		同高等学校教員発表	研究発表「平成22年度、23年度の取り組み」
		加賀屋克美 (有)加賀屋感動ストアマネージメント代表取締役)	「日米のディズニーで学んだ感動のサービス」
11月18日(金)	茨城県 日立市立 坂本中学校	同中学校教員	「自分を守る(保険)～自転車の乗り方指導を通して」(1年生対象) 「自立した消費者になろう」(2年生対象) 「市場経済と金融」(3年生対象)
		ダニエル・カール (翻訳家・タレント、 山形弁研究者)	「日本とアメリカの違いから学ぶ 賢い消費者へのみち」
		同中学校教員発表	研究発表「社会の中で生きる力を育む金融教育」

開催日	開催校名	公開授業講師	公開授業内容
		講演講師	講演テーマ・内容
11月24日(木)	愛知県 田原市立 伊良湖 小学校	同小学校教員	「ひきざん(2)『にこもりまつりをたのしもう』」(1年生対象) 「にこもりまつりをたのしもう」(2年生対象) 「2万円の使い道」(3年生対象) 「東北応援バザーをひらこう」(4年生対象) 「日本の貿易」(5年生対象) 「伊小エコ隊が行く」(6年生対象)
		同小学校教員発表	研究発表
		いちのせかつみ (ファイナンシャル・プランナー、生活経済ジャーナリスト)	「子どもはお金が好きやねん！今、金融教育が必要なワケ」
11月25日(金)	兵庫県 神戸市立 須磨翔風 高等学校	同高等学校教員	「26歳の私」(1年生対象、キャリアプランニングI)
		同高等学校教員発表	研究発表「本校における金融教育の取り組みについて」
		住田裕子(弁護士)	「未来の自分を守る金融教育-お金のトラブルから自分を守るために-」
11月29日(火)	山形県立 南陽 高等学校	同高等学校教員	「ライフプランニング」(3年生対象、課題研究)
		あんびるえつこ (生活経済ジャーナリスト、「子供のお金教育を考える会」代表)	「生きていくためのお金の話」
11月29日(火)	千葉県立 市川昂 高等学校	同高等学校教員	「カード社会の歩き方」(2・3年生対象、総合的な学習の時間)
		いちのせかつみ (ファイナンシャル・プランナー、生活経済ジャーナリスト)	「世界一おもしろいお金の話！」
11月30日(水)	静岡県立 島田商業 高等学校	同高等学校教員	「Expensive and Cheap」(1年生対象、英語I) 「カードで決済」(1年生対象、ビジネス基礎) 「金融機関と金融商品」(1年生対象、現代社会) 「金利を計算してみよう」(2年生対象、数学) 「医療制度と医療費」(2年生対象、保健) 「代金の支払用具」(3年生対象、総合実践) 「クレジットカードで Enjoy ザ チョイスゲーム」(3年生対象、家庭総合)
		ダニエル・カール (翻訳家・タレント、山形弁研究者)	「日本とアメリカの違いから学ぶ 賢い消費者へのみち」

開催日	開催校名	公開授業講師	公開授業内容
		講演講師	講演テーマ・内容
12月1日(木)	沖縄県立那覇商業高等学校	同高等学校生徒発表	「株式学習発表会」(3年生対象、商業科選択)
		同高等学校教員発表	研究実践発表
		加賀屋克美 ((有)加賀屋感動ストアーマネージメント代表取締役)	「日米のディズニーで学んだ感動のサービス」
12月12日(月)	富山県立高岡商業高等学校	同高等学校教員	「経済活動と法」(3年生対象、商業科)
		いちのせかつみ (ファイナンシャル・プランナー、生活経済ジャーナリスト)	「知らんとアカン! お金の怖～いはなし」
12月21日(木)	群馬県桐生市立商業高等学校	同高等学校校教員	「ビジネス計算」(1年生対象、ビジネス基礎) 「金融と実生活の関わり」(2年生対象、現代社会) 「社会人になるための経済学」(3年生対象、LHR)
		同高等学校生徒発表	生徒研究発表「新たなあゆみ、絆とともに」
		住田裕子(弁護士)	「金融トラブルから身を守ろう」
12月21日(木)	東京都武蔵村山市立小中一貫校村山学園	同小学校教員	「お金ってなあに?～世界のお金～」、「お金ってなあに?～おこづかい帳をつけよう～」(4年生対象) 「消費者モニター初体験～新作クッキーいただきます～」(5年生対象) 「みんなでクッキー大作戦!～校庭のみかんで商品開発～」(8年生対象)
		洞口勝人 (ファイナンシャル・プランナー)	「学校では教えてくれない身近な経済・お金の話」

開催日	開催校名	公開授業講師	公開授業内容
		講演講師	講演テーマ・内容
2012年 1月18日(水)	福岡県 福岡市立 高宮小学校	同小学校教員	「お金にへんしん」(1年生対象) 「遠足のおやつを自分で買おう」(2年生対象) 「見えるお金・見えないお金」(3年生対象) 「お金があったらどうつかう」(4年生対象) 「上手につかおう 物やお金」(5年生対象) 「身近な消費生活」(6年生対象)
		ダニエル・カール (翻訳家・タレント、 山形弁研究家)	「金融教育を考える～日米の生活体験を通して～」
1月21日(土)	東京都 渋谷区立 広尾小学校	同小学校教員	「おみせやさんごっこをしよう」,「お金にへんしん」(1年生対象) 「使い方を考えて『かいもの』」(2年生対象) 「おこづかい帳を記録してみよう」(3年生対象) 「知りたいな 広尾Tシャツのひみつ」(4年生対象) 「お金ってなんだろう」(5年生対象) 「わたしたちの願いを実現する政治」(6年生対象)
		あんびるえつこ (生活経済ジャーナリスト、「子供のお金教育を考える会」代表)	『カレー作りゲーム』で考える自分づくり社会づくり
2月2日(木)	神奈川県立 相模原総合 高等学校	同高等学校教員	「被服購入から消費生活を考える」(2年生対象、家庭総合)
		いちのせかつみ (ファイナンシャル・プランナー、生活経済ジャーナリスト)	「知らんとアカン! お金のコワ～い話」
		同高等学校教員	研究協議「学校における金融教育の進め方」

(「金融教育公開授業」参照先)

<http://www.shiruporuto.jp/event/2011/11jugyo/index.html>

(3)「消費者教育フェスタ」への参加

【目的】

「消費者教育フェスタ」は、消費者教育の推進のため、官民の様々な主体が実施している消費者教育の取組み等を地方公共団体、学校、大学等の関係者等に紹介することを目的とし文部科学省主催で2010年度に初めて開催されたのに続き、2011年度も開催されました。当委員会も、これまでの取組みを紹介する目的で参加しました。

【内容】

2011年度は、東京での開催に加え岐阜市においても開催されました。

東京で開催された2012年1月18日(火)には、学校教育分科会において当委員会より派遣した千葉市教育委員会山崎二郎主査補による「中学校社会科における取組例」と題した実践事例紹介を行ったほか、社会教育・大学分科会においては当委員会事務局岡崎金融教育プラザリーダーが「大学における金融教育に関する取組み状況」と題した発表およびその後の意見交換を行いました。また、文部科学省講堂ホワイエにおいて当委員会の活動内容を紹介したパネル展示および教材の展示、配布を行いました。

また、岐阜市で開催された2月22日(水)、23日(木)には、岐阜県金融広報委員会が、「小・中学生のための消費者教育ワークショップ」に金融広報アドバイザーを派遣したほか、当委員会作成資料の展示を行いました。

(4)「消費者教育推進事業」への参画

【目的】

文部科学省が実施している「消費者教育推進事業」に協力することを目的として、以下の資料提供を行いました。

【内容】

文部科学省より依頼を受けて、2012年1月7日(土)にトレッサ横浜(神奈川県横浜市)で開催された「親子で学ぶ消費者教育ワークショップ『ゲームで学ぶ!冬休みお金の教室』」に当委員会発行の刊行物、チラシを提供しました。

3. 啓発資料・教材、情報発信

(1) 「くらし塾 きんゆう塾」の季刊発行

【目的】

「くらし塾 きんゆう塾」は、金融広報中央委員会の広報誌として、幅広い層を対象に、当委員会の目指す金融広報および金融教育の考え方や当委員会活動をわかりやすく伝えることを目的に、3か月に1回発行しています。とくに、2011年度は東日本大震災の発生を受けて、夏号を震災特集号として位置付け、「そこが知りたい！くらしの金融知識」では地震保険、「連載エッセイ」では震災とおかねを取り上げたほか、「災害時のお金のQ & A」として震災対応について委員団体が発信した情報をご紹介しました。このように、社会環境や読者のニーズを意識してトピックと記事内容を工夫しました。

【内容】

本年度は、次の構成で作成しました。

狙いの分類	構成内容
金融知識等の解説	<ul style="list-style-type: none">・そこが知りたい！くらしの金融知識 「まさか」に備える～地震保険とは？～」、「外貨建て金融商品とのつきあい方」、「病気や怪我に備える」など・まんが わたしはダマサレナイ！！ 「リフォーム詐欺」、「過去に購入した未公開株の買い取り詐欺」、「投資型マンション違法勧誘」、「貴金属などの訪問押し買い詐欺」
金融教育の実践事例紹介	<ul style="list-style-type: none">・金融教育の現場レポート
当委員会の考え方を伝える記事	<ul style="list-style-type: none">・巻頭インタビュー（生きる力を考える内容等）・連載エッセイ「会計士のやさしいお金のお話」・「にっぽんおかね紀行」（江戸の貨幣と暮らし～統一貨幣のあけぼの、平泉 中尊寺金色堂、領国貨幣をご存知ですか？、駕籠のお代はいくらだった？）、「たべもの百面相」（豆腐、鯖、麺、寿司）
当委員会の活動を紹介する記事	<ul style="list-style-type: none">・中央委員会の活動紹介・各地委員会事務局員の活動紹介、金融広報アドバイザーの紹介・知るぼるとカレンダー・「おかねのね」の紹介

(2)「暮らしと金融なんでもデータ」の見直し

【目的】

各個人が金融経済情報を積極的に収集していくことがますます重要となっている中、その手掛かりとして、暮らしと金融に関連した主要データを幅広く提供することを目的とするデータ集です。

【内容】

本年度は2年振りの全面改訂に取り組みましたが、利便性を高めるために情報提供の方式を見直し、冊子形式に加えて、当委員会ホームページを通じて分析に利用しやすいデータ・ファイル形式による情報提供を行うこととしました。本年度は、ホームページ掲載用データの作成を先行して実施しました。

(3) ホームページを通じた情報発信

【目的】

当委員会では、暮らしに役立つ身近な金融経済情報をタイムリーにかつ幅広く提供するため、1997年度からホームページを開設しています。

【内容】

本年度は、昨年度に引き続き、ホームページコンテンツの幅広い見直しを行い、内容の改訂やスクラップ&ビルドを行いました。

また、2011年3月に発生した東日本大震災に関しては、関係官庁や関係諸団体が各々のホームページから被災者の方々に向けて発信する預貯金・保険・税・年金といった様々な分野の金融関連情報を、特集リンクページを通じて簡便に閲覧できるようにしました。

以上のほか刊行物改訂に伴う更新やイベント告知などを合わせて毎月約20件の新着情報を配信し、本年度のアクセス件数は累計1,286万件、1日平均3万5千件（前年度は1日平均3万3千件）となりました。

【トップページ】



(4) 各種メディアを通じた情報発信

【目的】

金融広報中央委員会の活動内容の紹介を目的として行っているものです。

【内容】

金融教育フェスティバル等、イベントの実施にあたり、引き続き新聞折込みチラシを活用したほか、雑誌への寄稿や取材協力等を実施しました。その際、“知るぼると”(金融広報中央委員会の愛称)の紹介も併せて行っています。

なお、インターネットを通じた新たな情報発信方法の工夫として、電子ブックの提供、YouTubeからの動画配信について検討を進めました。

(5) ビデオ・DVDの貸出

【目的】

金融経済情報の提供や金融経済学習の支援に関して、視聴覚教材を用いてよりわかりやすく効果的に行うことを目的としています。

【内容】

視聴覚教材として作成・購入したビデオ教材を、都道府県金融広報委員会、日本銀行支店・事務所を通じて一般の方々へ貸出しています。また、一部の作品については、当委員会のホームページで視聴することも可能です。

【2011年度中に貸出した主なビデオ・DVD】

題名
ホシガリ姫の冒険
UF0につかまった子供たち
100万円あったら、どうする？
ボクの犬小屋日記
見てわかる！金融教育 授業の進め方【DVD】
お金って何？～リスクと自己責任～

4.コンクール

(1)「金融教育を考える」小論文コンクール

【目的】

学校教育における「金融教育」の重要性が指摘される中、「金融教育」のあり方に関して、学校教育関係者に関心を高めていただき、また、議論を深める契機としていただくことを目的に、金融経済教育に関する実践報告や研究結果、提言などをテーマとする小論文コンクールを実施しました。

【内容】

全国の幼稚園教諭、小学校・中学校・高等学校教師、教職課程在籍または教職を目指す大学生・大学院生、大学教員など研究者を対象に、金融経済教育に関する実践報告や研究結果、提言などを小論文形式で募集しました。当コンクールは本年度で8回目となります。

【審査員】

(敬称略)

阿部信太郎	城西国際大学准教授
宇都宮健児	弁護士
工藤 文三	国立教育政策研究所初等中等教育研究部長
河野 公子	聖徳大学教授
西村 隆男	横浜国立大学教授
田波 宏視	NHK制作局第1制作センター経済・社会情報番組部長
白井さゆり	日本銀行政策委員会審議委員
小林 信介	金融広報中央委員会会長

【応募状況と審査結果】

本年度の応募総数は26編でした(前年度は25編)。審査の結果は以下のとおり、特賞1編、奨励賞6編を入賞作品として表彰しました。

【表彰論文】

(特賞) 1 編

(敬称略)

入賞者	作品名
静岡県 焼津市立大井川西小学校 殿岡 正英	「需要と供給ってなに？」からはじまる 経済学習の単元開発 ～「西小プロジェクト 2011 私たちの暮らしと 経済」の実践を通して～

(奨励賞) 6 編

(敬称略)

入賞者	作品名
北海道 北海道教育大学教育学部 1年 新川 歩	これからの時代に求められる金融教育 教職を目指す大学生の立場から
北海道 北海道教育大学教育学部・国際経済ゼミ 4年 西田 一喜 4年 佐藤 麻美 4年 福田 莉沙	小学校社会科の産業学習における金融教育の 教材開発 調べ学習とボードゲームの活用
栃木県 佐野日本大学中等教育学校 一ノ瀬 藤明	経済環境の変化とこれからの金融教育 ～リスク社会における金融教育への提言～
神奈川県 神奈川県立厚木商業高等学校 岩村 夏樹	信用取引で教える証券決済の正体 株式基礎を学び終えた高校生たちへ
神奈川県 横浜市立潮田中学校 力丸 剛	概念的枠組みから金融・経済の授業を創造する 日常生活の意思決定をヒントに「見方・考え方」 を育てる
三重県 伊勢市立小俣中学校 西村 朱美	消費者市民教育で育成する「基礎的・汎用的能力」

(「金融教育を考える」第8回小論文コンクール参照先)

<http://www.shiruporuto.jp/teach/school/kyoin2011/index.html>

(2)「金融と経済の明日」高校生小論文コンクール

【目的】

高校生・高等専門学校生・高等専修学校生に、金融や経済について関心を持っていただき、自身の考えを論理的に記述することを通じて思考力や表現力を高めていただくことを目的としています。

【内容】

高校生および高等専門学校生・高等専修学校生を対象に5つのテーマを設け、小論文形式で募集しました。本年度で9回目となります。

【募集テーマ】

- (1) あなたのライフプランと働くことについて考えよう
- (2) 日本のこれからを考える
- (3) 日本経済を活性化する将来有望な産業とは
- (4) 消費者としてのルール
- (5) 自由テーマ

【審査員】

(敬称略)

伊藤元重	東京大学大学院経済学研究科教授兼任総合研究開発機構理事長
細野真宏	Hosono's Super School 代表
櫻井純子	聖学院大学非常勤講師
佐藤則夫	金融庁総務企画局政策課金融企画管理官
永井克昇	文部科学省初等中等教育局視学官
清水頭賢二	全国公民科・社会科教育研究会副会長
鮎瀬典夫	日本銀行情報サービス局長
小林信介	金融広報中央委員会会長

【応募状況と審査結果】

本年度は学校応募が65校、個人応募が26件で計1,579編の応募をいただきました(前年度は、学校応募62校、個人応募20件で計1,188編)。

審査の結果は以下のとおり、特選5編、秀作5編、佳作50編を入賞作品として表彰しました。このうち、特選、秀作、学校賞^(注)の入賞結果は、次のとおりです(佳作入賞者については当委員会ホームページをご覧ください)。

(注)学校賞は、特選受賞者在籍校にさし上げています。

【表彰論文】

(特選) 5 編

(敬称略)

入賞者	作品名
金融担当大臣賞 大分県 大分県立大分鶴崎高等学校 1年 森山 心月	イリョウノミライ
文部科学大臣賞 京都府 京都府立京都すばる高等学校 3年 藤山 はるな	地域経済の活性化・発展に向けて
日本銀行総裁賞 東京都 桜蔭高等学校 2年 岩間 優	経済を活性化させる信頼もコストのうち
全国公民科・社会科教育研究会会長賞 栃木県 佐野日本大学中等教育学校 4年 天下井 恵理	立ち上がれ日本！震災復興と日本経済のこれから
金融広報中央委員会会長賞 埼玉県 埼玉県立浦和第一女子高等学校 2年 有地 志帆	日本のこれからを働く女性に託する

(秀作) 5 編

(敬称略)

入賞者	作品名
新潟県 新潟県立長岡高等学校 1年 川上 あずみ	ゆきつく先は・・・
新潟県 新潟県立長岡高等学校 1年 細川 葵	日本の農業と経済の未来
岡山県 岡山県立岡山朝日高等学校 1年 小椋 章史	世界の貧困を解決するための経済について
岐阜県 岐阜県立海津明誠高等学校 3年 伊藤 聖矢	コンテンツ産業とビジネスモデル
大分県 大分県立日田高等学校 3年 諫山 美咲	私のふるさとから考える明日の地域経済と将来の夢

(学校賞)

大分県 大分県立大分鶴崎高等学校
京都府 京都府立京都すばる高等学校
東京都 桜蔭高等学校
栃木県 佐野日本大学中等教育学校
埼玉県 埼玉県立浦和第一女子高等学校

(「金融と経済の明日」第9回高校生小論文コンクール参照先)

<http://www.shiruporuto.jp/teach/yomu/ron2011/index.html>

(3)「おかねの作文」コンクール

【目的】

中学生に金融や経済に興味を持っていただき、それを作文に仕上げることを通じて考える力、伝える力を養っていただくことを目的としています。

【内容】

中学生を対象に5つのテーマを設け、作文を募集しました。当コンクールは本年度で44回目となります。

【募集テーマ】

- (1) 活か^いたおかねの使い方とは
- (2) 地域(経済)を元気にする取り組み
- (3) 私のおかねのルールやわが家の約束事とは
- (4) 将来の夢の実現とおかねの関わり
- (5) 自由テーマ

【審査員】

(敬称略)

長嶋俊行	金融庁総務企画局政策課課長補佐
永井克昇	文部科学省初等中等教育局視学官
相川敬	(社)日本PTA全国協議会会長
吉田和夫	全日本中学校国語教育研究協議会会長
佐々木雅浩	日本銀行情報サービス局金融広報課長
水口毅	金融広報中央委員会事務局次長

【応募状況と審査結果】

本年度は学校応募が573校、個人応募が46件で計4,120編の応募をいただきました(前年度は学校応募612校、個人応募67件で計4,662編)。

審査の結果は以下のとおり、特選5編、秀作5編、佳作50編を入賞作品として表彰しました。このうち、特選、秀作、学校賞^(注)の入賞結果は、次のとおりです(佳作入賞者については当委員会ホームページをご覧ください)。

(注)学校賞は、特選受賞者在籍校にさし上げています。

【表彰作品】

(特選) 5編

(敬称略)

入賞者	作品名
金融担当大臣賞 東京都 学習院女子中等科 2年 國井 日南子	後悔しないお金の遣い方
文部科学大臣賞 香川県 高松市立牟礼中学校 2年 細川 莉穂	理想的なお金の使い方
日本銀行総裁賞 愛知県 岡崎市立矢作北中学校 1年 和泉 愛	意志のあるお金とは
日本PTA全国協議会会長賞 滋賀県 滋賀大学教育学部附属中学校 3年 竹本 堯史	お金から学んだこと
金融広報中央委員会会長賞 海外 シンガポールアメリカンスクール 8年 小宮 聴善	世界がつながる親切なお金

(秀作) 5編

(敬称略)

入賞者	作品名
大阪府 帝塚山学院泉ヶ丘中学校 1年 小西 望月	お小遣い制
東京都 学習院女子中等科 2年 芳川 真穂	わが家の金銭教育
群馬県 渋川市立金島中学校 3年 遠藤 里緒	大切なこと
神奈川県 横浜市立南希望が丘中学校 3年 木村 遥希	お金の価値
鹿児島県 鹿児島市立鹿児島玉龍中学校 3年 木田 夕菜	地元の明日をつくる商品

(学校賞)

東京都 学習院女子中等科
香川県 高松市立牟礼中学校
愛知県 岡崎市立矢作北中学校
滋賀県 滋賀大学教育学部附属中学校
海外 シンガポールアメリカンスクール

(第44回「おかねの作文」コンクール参照先)

<http://www.shiruporuto.jp/teach/yomu/saku2011/index.html>

調査研究活動

1. 家計の金融行動に関する世論調査

【目的】

この調査は、当委員会が、家計の資産・負債や家計設計などの状況を把握し、これらの公表を通じて金融知識を身につけることの大切さを広報すること、家計行動分析のための調査データを提供すること、の2つを目的として毎年実施しています。

【内容】

本年度は、家計の金融資産・負債や家計設計の状況などについて、全国の二人以上世帯8千世帯を対象に標本抽出調査し、約5割の世帯(3,802世帯)から回答を得たほか、単身世帯調査については、インターネット調査により2,500モニターを対象に調査しました。なお、本年度は、東日本大震災の発生を受け、例年より4か月程度、実施時期を先延ばししました。

・二人以上世帯の調査概要

調査の内容	<p>(主な調査項目)</p> <p>(1) 金融資産の状況等 金融資産の有無、金融資産保有額、内訳等</p> <p>(2) 金融負債の状況等 借入金の有無、借入金残高、借入の目的等</p> <p>(3) 実物資産・住居計画 住居の状況、住宅取得必要資金、この一年以内の土地・住宅の取得、増改築、売却の有無等</p> <p>(4) 生活設計(老後、消費含む) 家計全体のバランス、過去一年間の家計運営、老後の生活についての考え方等</p> <p>(5) 決済手段 日常的な支払いの主な資金決済手段、月平均手持ち現金残高等</p> <p>(6) 金融制度等 預金保険制度の認知度、金融機関の選択理由等</p>
調査対象者の抽出方法	<p>層化二段無作為抽出法により全国から500の調査地点を選び、各調査地点から無作為に16の世帯(二人以上世帯)を選ぶことによって計8,000の調査対象(標本)を抽出。</p>
調査の方法	<p>(1) 訪問と郵送の複合・選択式によって調査依頼・回収しました。</p> <p>(2) 2011年調査の実施および結果の集計は、(株)日本リサーチセンターに委託しました。</p>

調査の時期	2011年10月7日(金)～11月14日(月) 東日本大震災に伴い、例年より約4か月延期して実施。
回収状況	標本数：8,000名 回収数：3,802名 回収率：47.5%
調査結果の公表	調査結果は、当委員会のホームページで公表した(2012年2月22日)ほか、冊子を作成しました。

・単身世帯調査の概要

調査の内容	(主な調査項目) 上記の二人以上世帯調査と同じ。
調査対象モニターを選定方法	(選定方法の概要) ・20歳以上70歳未満で、単身で世帯を構成する者。 ・モニター数は2,500を有効回収数として確保する設計とし、直近(2005年)の国勢調査の単身世帯データにおける地域・年代・男女別の構成比に基づき回答者割付を行いました。
調査の方法	(1)インターネットモニター調査の方法によって、調査依頼・回収しました。 (2)2011年調査の実施および結果の集計は、(株)インテージに委託しました。
調査の時期	2011年10月14日(金)～10月27日(木) 東日本大震災に伴い、例年より約4か月遅く実施。
回収状況	有効回収モニター数：2,500名
調査結果の公表	上記の二人以上世帯調査と同じ。

(「家計の金融行動に関する世論調査」参照先)

二人以上世帯調査：

http://www.shiruporuto.jp/finance/chosa/kyoron_futari/index.html

単身世帯調査：

http://www.shiruporuto.jp/finance/chosa/kyoron_tan/index.html

2. 子どものくらしとお金に関する調査

【目的】

この調査は、全国の児童・生徒を対象として、お金にまつわる日常生活、お金に関する意識・行動、金融経済に関する基礎的な知識などを把握することにより、児童・生徒の実態に即した効果的な金融教育の実践や、学校向け教材の作成、各種支援活動などに活用することを目的としています。

第1回の調査は2005年度に実施。前年度、5年振りに2回目となる調査を実施し、調査結果を本年度（6月）に公表しました。

【内容】

主な調査内容	<p>(1) おこづかい、お年玉 有無、金額、もらう相手、おこづかいの使いみち、足りなくなったときの対処方法等</p> <p>(2) アルバイト・貯蓄等 アルバイトの経験・考え方、貯蓄の有無、図書カード・電子マネーなどの利用等</p> <p>(3) 持ち物・携帯電話・インターネットの利用 専用の持ち物、携帯電話の利用金額・用途、インターネットの利用等</p> <p>(4) 家の人との会話、家事・手伝い 会話の内容・頻度、家庭での家事・手伝い等</p> <p>(5) お金についての意識、金融経済の知識 お金についての意識や行動、お金や金融経済についての考え方、金融経済の知識等</p>											
調査対象校の抽出方法	<p>(1) 公募</p> <p>(2) 無作為抽出法</p> <p>(3) 金融・金銭教育研究校など</p>											
調査の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・調査票による無記名式調査（児童・生徒本人が回答） ・学校を通じた調査（学校に調査を依頼） ・調査票の発送、回収は郵送 ・調査票の送付、回収、結果集計は（株）トランス・コスモスに委託 											
調査の時期	2010年12月～2011年3月											
調査協力校数 およびサンプル数	<table style="border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">小学校低学年： 5,810名</td> <td rowspan="3" style="font-size: 3em; padding: 0 10px;">}</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">(123校)</td> </tr> <tr> <td>中学年： 6,427名</td> </tr> <tr> <td>高学年： 8,094名</td> </tr> <tr> <td>中学生： 20,139名</td> <td></td> <td>(128校)</td> </tr> <tr> <td>高校生： 28,303名</td> <td></td> <td>(125校)</td> </tr> </table>	小学校低学年： 5,810名	}	(123校)	中学年： 6,427名	高学年： 8,094名	中学生： 20,139名		(128校)	高校生： 28,303名		(125校)
小学校低学年： 5,810名	}	(123校)										
中学年： 6,427名												
高学年： 8,094名												
中学生： 20,139名		(128校)										
高校生： 28,303名		(125校)										
調査結果の公表	調査結果は、当委員会のホームページで公表しました（2011年6月17日）。											

（「子どものくらしとお金に関する調査」（第2回）参照先）

<http://www.shiruporuto.jp/finance/chosa/kodomo2010/index.html>

3 . 金融力調査

【目 的】

この調査は、わが国の 18 歳以上の個人のお金や金融に関する知識や行動の特色を把握するために、当委員会として初めて実施したものです。諸外国での取り組みを参考にしつつ、より効果的かつ効率的な金融広報活動を実施していくための基礎情報を収集することを目的としています。

【内 容】

この調査では、自身の将来に対する資金的な備え、自身の金融に関する知識や判断能力について(自己評価)などを問う設問や、金利やインフレなどについての基礎的な知識等を問う設問を設けました。また、金融商品や取引に関する意思決定の根拠や、金融に関する情報の入手方法に関する設問を設けました。

この調査は、2011 年 11～12 月に実施しました(調査結果の公表は 2012 年度)。

4 . 海外の金融教育の実情調査、国際機関等との情報交換

【目 的】

当委員会では、 海外における金融教育・金融知識普及活動を巡る状況を紹介することを通じて金融知識を身につけることの大切さを広く国民に伝えるとともに、 当委員会の活動の参考とするため、金融教育に関する国際会議への参加や海外の金融教育関連団体の来日などの機会を捉えて、海外における金融教育の動向に関する情報収集・調査を行っています。また、 わが国における取組みを海外諸国における金融教育推進の参考に供するため、国際機関等の会議にも積極的に参加しています。

【内 容】

本年度は、当委員会事務局スタッフがO E C D主催の「金融教育に関する国際ネットワーク会議」等の国際会議に出席し、各国における金融教育に関する活動状況について情報収集を図るとともに、わが国における金融教育に関する情報を提供し、参加者との意見交換に努めました。

都道府県金融広報委員会を通じた活動

【目的】

金融広報中央委員会として、都道府県金融広報委員会の活動を支援することを通じ、金融に関する正確な知識等を全国的に普及させることを目的としています。

【内容】

当委員会の活動は、全都道府県にある金融広報委員会（以下、「各地委員会」という）と密接に連携しながら推進されています。各地委員会は、各都道府県、地方財務局・財務事務所、日本銀行支店・事務所や、銀行、信用金庫、信用組合、証券会社、保険会社などの業界団体等から選出された委員から構成され、日常的な活動は主に、県または日本銀行支店・事務所に置かれている事務局によって行われています（資料1参照）。

各地委員会では、当委員会と連携しながら、金融に関する正確な知識等を当該地域の方々に幅広く普及させるため、独自の活動を展開しています。各地委員会の活動は、地域毎に異なる諸条件や現状を踏まえ最適な方法が模索されるため、内容は必ずしも一律ではありませんが、「金融商品に関する正確な知識の普及」、「金融・金銭教育への支援」、「金融トラブルに対する注意喚起とその対処方法の周知」を軸に活動を展開する委員会が多くみられます。

【当委員会による各地委員会への支援の概要】

各地委員会では、各都道府県民の方々への啓発資料の提供のほか、大規模な講演会・シンポジウム、中小規模の講座やセミナーの開催といった活動にも積極的に取り組んでいます（資料2参照）。こうした活動を支えるものとして、（1）金融広報アドバイザー制度、（2）金融学習グループ制度、（3）金融・金銭教育研究校制度、（4）金融教育研究グループ制度、（5）金融学習特別推進地区制度があります。当委員会では、これらの活動や制度が有効かつ円滑に運用されるように資金的な援助や様々なノウハウを提供しているほか、資料・教材等を配付するなどの支援を行っています。

各制度の概要は以下のとおりです。

1. 金融広報アドバイザー制度

金融広報アドバイザー制度とは、地域の方々に対し、中立公正な立場から、客観的で正確な金融関連知識を直接提供するために、各地委員会が金融経済に関する有識者などを金融広報アドバイザーとして選任し、当委員会が委嘱する制度です。各地委員会で選任・委嘱されている金融広報アドバイザーは、2012年3月31日現在、総勢463名です。金融広報アドバイザーは全国各地で、金融商品、資産形成、年金、保険、税金、金融トラブル、金融・金銭教育等をテーマにした講演会や講座・講習会の講師をはじめとする広報活動で活躍しています（本年度中の講師派遣件数は3,328回）。

なお、当委員会では、金融広報アドバイザーの活動に関する情報や資料を各地委員会に提供するなどの支援を行っています。

2. 金融・金銭教育研究校制度

金融教育研究校あるいは金銭教育研究校（以下、「研究校」という）制度とは、学校や幼稚園において、金融や金銭に関する具体的な教育を実践し、その効果的な方法を研究していただくことを目的に、各地委員会が幼稚園または学校を1年ないし2年間、研究校として委嘱する制度です。高等学校、中学校、小学校等において、金融・経済に関する正しい知識の習得に力点を置くものを「金融教育研究校」、中学校、小学校、幼稚園等において、金銭や物に対する健全な価値観の養成に力点を置くものを「金銭教育研究校」として委嘱しています。当委員会および各地委員会では、研究校に対して、カリキュラムの作成や金融広報アドバイザーを含む講師の派遣、授業で用いる教材・資料等の提供、授業を進めるうえでの各種技術指導等の支援を行っているほか、研究・実践に必要な費用の一部を補助しています。

2012年3月31日現在、全国41都道府県で計123校の研究校が委嘱され、その成果等に関する情報については、各地委員会によって開催される金融・金銭教育協議会や金融教育公開授業における発表等を通じて共有され、活動内容の向上に役立てられています。

（参考）研究校の委嘱状況

	高等学校	中学校	小学校	幼稚園	聾・養護学校
金融教育研究校	40校	21校	6校		
金銭教育研究校		6校	38校	11校	1校

3. 金融学習グループ制度

金融学習グループ制度とは、金融経済知識の習得のために自主的かつ意欲的に学習活動に取り組むグループに対して、各地委員会が活動目的、学習内容を吟味したうえで、原則として1年間（活動実績等を踏まえて2回まで延長可）「金融学習グループ」として認定し、金融広報アドバイザーの派遣や資金的な援助などを行う制度です。2012年3月31日現在、全国

で 54 先が金融学習グループとして認定され、身近な各種金融商品の仕組みや特徴、金融に関する法律や制度、生活設計や資金計画の策定およびそれに必要な年金・保険・税金、子どもや若者に対する基礎的な金融に関する消費者教育の進め方などをテーマに学習活動が行われています。

なお、当委員会では、各地委員会が行う金融学習グループへの資金的援助を助成する制度を設けています。

(金融学習グループにおけるカリキュラムの例)

テーマ	講師
金融・経済についての基本的な見方	日本銀行職員
ライフプランニングの方法	金融広報アドバイザー
金融商品の基礎知識	金融広報アドバイザー
正しい年金の知識	金融広報アドバイザー
悪質商法からの防衛策	弁護士

4. 金融教育研究グループ制度

金融教育研究グループ制度とは、主として高等学校、中学校において公民科、家庭科、商業科や総合的な学習の時間等を担当する教師が、学校横断的な研究会・グループ等により、金融教育の実践・研究活動を行う際、金融教育研究校に準じて研究を委嘱し、当委員会および各地委員会が、ノウハウや資金的な援助を行う制度です。2012年3月31日現在で全国4県において4グループが金融教育研究活動に取組んでいます。当委員会および各地委員会では、この制度を通じ、実際に教育現場を担っておられる先生方に金融教育への理解を深めていただくとともに、より効果的な授業が幅広く行われるように支援しています。

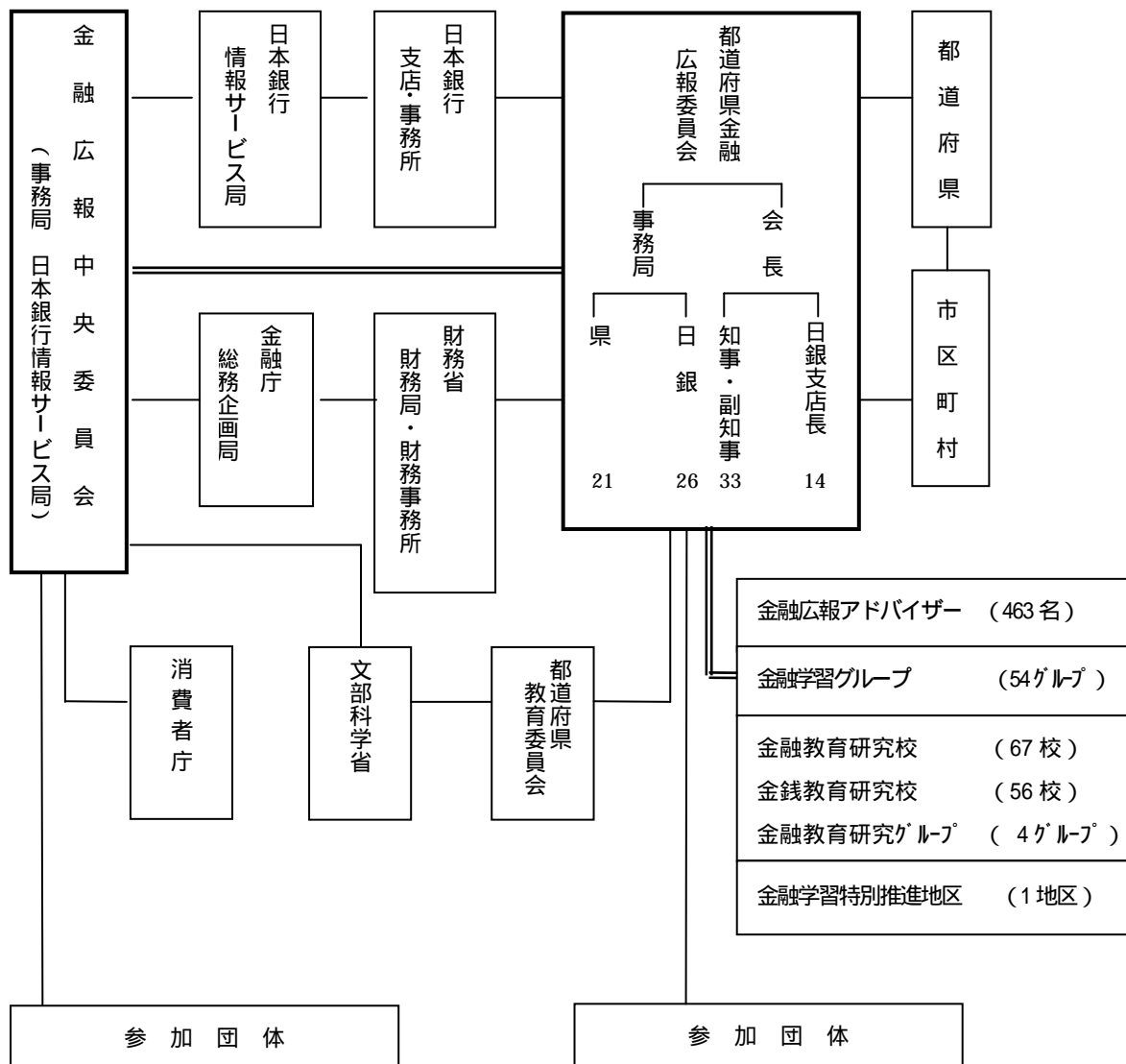
5. 金融学習特別推進地区制度

金融学習特別推進地区（以下、「特区」という）制度とは、市区町村またはその中の一定地域が、各地委員会および当委員会と一体となって、地域ぐるみ（住民、企業、学校、PTAなど）で継続的な金融学習への取組みを推進することを目的に、2004年度に設けられた制度です。同制度の委嘱は各地委員会が行い、委嘱期間は原則として2年間です。

2012年3月31日現在、東京都足立区が特区の指定を受けており、当委員会からの助成金や東京都金融広報委員会からのノウハウの提供を受けて、暮らしに身近な金融の学習活動を、講演会や講座、区民まつり、標語コンテスト等を通じて活発に行っています（2011年度中の開催回数13回）。また、東京都金融広報委員会では、「特区」自治体が開催する消費者や

学生・子ども向けのイベントに「一億円の重さ体験コーナー」や「クイズコーナー」などの展示ブースを出展したり、金融学習に関する「親子見学ツアー」を実施するなどの支援活動も行っています。

(資料1) 金融広報中央委員会活動の相互連携図



< 2012.3.31 現在 >

(資料2) 主な金融経済等講演会の開催状況

(敬称略)

日時	開催地	講師名	テーマ
2011年 5月28日(土)	京都府 宇治市	藤澤 久美 (シンクタンク・ソフィアバ ンク副代表)	「これからの経済と私たちの暮らし」
8月21日(日)	徳島県 徳島市	木村 晋介 (弁護士)	「うまい話にご用心」
9月12日(月)	静岡県 三島市	見城 美枝子 (青森大学社会学部教授、 エッセイスト)	「変わりゆく時代の暮らしと金融」
9月14日(水)	青森県 青森市	加賀屋 克美 (加賀屋感動ストア マネジメント代表取締役)	「ディズニーランドが教えてくれた 『お客様を大切に思う気持ち』」
9月27日(火)	石川県 金沢市	伊藤 元重 (東京大学大学院経済学研 究科教授)	「震災後の日本経済について」
10月2日(日)	富山県 富山市	堀田 力 (弁護士、公益財団法人 さわやか福祉財団理事長)	「新しいふれあい社会の創造 ～介護保険と地域福祉～」
10月4日(火)	鹿児島県 鹿児島市	西村 隆男 (横浜国立大学教授)	「『消費者はほんとうに守られているか』 ～消費者被害額は3兆円～」
10月6日(木)	兵庫県 神戸市	見城 美枝子 (青森大学社会学部教授、 エッセイスト)	「変わりゆく時代の暮らしとお金について 考える ～今 大切にしたいこと～」
10月14日(金)	神奈川県 横浜市	山田 真哉 (公認会計士、作家)	「さおだけ屋は なぜ潰れないのか？」
10月18日(火)	長野県 上田市	ダニエル・カール (翻訳家・タレント、山形 弁研究者)	「暮らしとおかねのお役立ちヒント ～日米の生活体験を通じて～」
10月22日(土)	北海道 帯広市	蟹瀬 誠一 (国際ジャーナリスト、 明治大学国際日本学部長)	「高齢化社会を豊かに生きる 生き抜くための4つの資産」
10月29日(土)	沖縄県 那覇市	山田 真哉 (公認会計士、作家)	「会計士が教える貯蓄と投資のセンスアッ プ」
10月30日(日)	北海道 旭川市	ダニエル・カール (翻訳家・タレント、山形 弁研究者)	「がんばっぺ ニッポン! オラの日米おもしろお金講座」
11月5日(土)	岩手県 盛岡市	生島 ヒロシ (フリーアナウンサー、 ファイナンシャルプランナー)	「人生を楽しむ秘訣 ～心と体と財布の健康」
11月9日(水)	千葉県 千葉市	蟹瀬 誠一 (国際ジャーナリスト、 明治大学国際日本学部長)	「震災後の日本 ～金融経済の行方とわたしたちの暮らし～」

日 時	開催地	講 師 名	テ - マ
11月10日(木)	群馬県 前橋市	伊藤 元重 (東京大学大学院経済学研 究科教授)	「震災後の日本経済」
11月12日(土)	岐阜県 大垣市	ダニエル・カール (翻訳家・タレント、山形 弁研究者)	「くらしとおかねのお役立ちヒント ～日米の生活体験を通じて～」
11月12日(土)	島根県 松江市	山田 真哉 (公認会計士、作家)	「会計士が教える貯蓄と投資のセンスアッ プ」
11月13日(日)	長崎県 雲仙市	生島 ヒロシ (フリーアナウンサー、 ファイナンシャルプランナー)	「豊かな人生のために ～もしもに備えた『心と体と財布の健康』」
11月20日(土)	栃木県 宇都宮市	山田 真哉 (公認会計士、作家)	「会計士が教える貯蓄と投資のセンスアッ プ」
11月24日(木)	茨城県 水戸市	山田 真哉 (公認会計士、作家)	「会計士が教える貯蓄と投資のセンスアッ プ」
11月25日(金)	福岡県 八女郡	ダニエル・カール (翻訳家・タレント、山形 弁研究者)	「金融教育を考える ～日米の生活体験を通して～」
11月27日(日)	秋田県 秋田市	生島 ヒロシ (フリーアナウンサー、 ファイナンシャルプランナー)	「“もしもに備えて” ～東日本大震災の教訓に学ぶ～」
11月29日(火)	高知県 高知市	生島 ヒロシ (フリーアナウンサー、 ファイナンシャルプランナー)	「人生を楽しむ秘訣 ～心と体と財布の健康」
12月 8日(木)	山梨県 甲府市	和泉 昭子 (生活経済ジャーナリスト、 ファイナンシャルプランナー)	「こんな時だからこそ考えたい 40代以上 のマネープラン」
12月17日(土)	岡山県 岡山市	高橋 伸子 (生活経済ジャーナリスト)	「大事なお金の生かし方、守り方 ～あなたの家計は大丈夫?～」
12月17日(土)	香川県 高松市	和泉 昭子 (生活経済ジャーナリスト、 ファイナンシャルプランナー)	「生きがいと豊かさを実現するライフキャ リアプラン」
2012年 1月14日(土)	宮城県 仙台市	高橋 進 (日本総合研究所理事長)	「金融・経済のこれから ～世界の潮流変化を考える」
1月20日(金)	愛知県 知多市	生島 ヒロシ (フリーアナウンサー、 ファイナンシャルプランナー)	「人生を楽しむ秘訣 ～心と体と財布の健康～」
2月 4日(土)	愛媛県 松山市	山田 真哉 (公認会計士、作家)	「会計士が教える貯蓄と投資のセンスアッ プ術」

日 時	開催地	講 師 名	テ ー マ
2月4日(土)	大分県 別府市	住田 裕子 (弁護士)	「気をつけよう！金融トラブル」
2月25日(土)	東京都 大田区	伊藤 宏一 (千葉商科大学大学院会計 ファイナンス研究科教授)	「『これで大丈夫？』 ～お金の使い方、安心人生プラン～」
2月26日(日)	鳥取県 鳥取市	山田 真哉 (公認会計士、作家)	「会計士が教える！ 家計・貯蓄・投資のセンスアップ」
3月15日(木)	福島県 福島市	香山 リカ (精神科医)	「ストレスに負けずに元気に生きる 震災後のこころのケア」